

F O R B E S T P E R F O R M A N C E

株式ウイークリー

投資助言・代理業登録番号/関東財務局長(金商)第896号






東洋経済

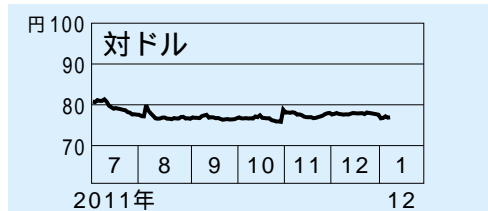
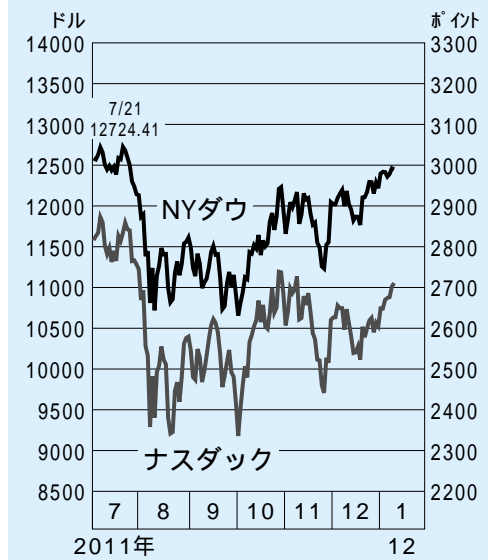
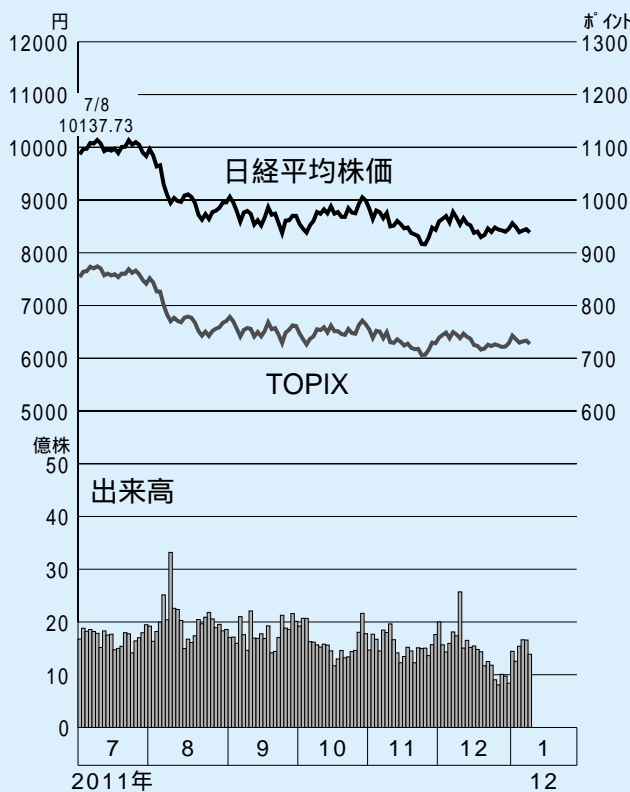
当社は本誌で注目した株式銘柄について売買を行いません。

2012

1-16

今週の注目株

1884		日 本 道 路	7732		ト プ コ ン
7222		日 産 車 体	7603		マ ッ ク ハ ウ ス
8041		O U G ホ ー ル デ ィ ン グ ス	4963		星 光 P M C



今週の投資戦略

金融など米国企業の決算本格化 「リスクオン」の流れ継続も

「アジア初のFIFA年間最優秀選手、最優秀監督」。もちろん、なでしこジャパンの澤穂希選手、佐々木則夫監督のことだ。受賞は当然とは思っていたが、番狂わせもあるもの。W受賞は、日本の女子サッカーが世界で最大級の評価を受けている証左だ。本当にすごいことだ。ひるがえって、若干唐突で恐縮ではあるが、日本株はなぜ世界市場から出遅れるのか。実はいま日本株が出遅れている大きな理由については、有力説があるのだ。16日のコラムをぜひお読みいただきたい。

16日から1週間の市場では、今度は米国が月曜日に休場だ。それでも注目目は米国市場。17日のシティグループ、19日はIBM、グーグルなど、主要金融機関、ハイテクの決算が目白押しだ（ちなみにアップルは24日予定）。主要企業の12年の見通しがどう語られるか。株価にはすでに一定程度織り込まれている

日 ジャスダック 平均	経 工業株30種 均	NYダウ 工業株30種	ナスダック 総合指数	月日
円	ドル	ポイント		
1,351.25	12,810.54	2,873.54		
2月21日	4月29日	4月29日		
1,055.49	10,655.30	2,335.83		
3月15日	10月3日	10月3日		
1,172.07	12,021.39	2,612.26		12.12月
1,173.74	11,954.94	2,579.27		13火
1,173.69	11,823.48	2,539.31		14水
1,167.57	11,868.81	2,541.01		15木
1,169.29	11,866.39	2,555.33		16金
1,169.49	11,766.26	2,523.14		19月
1,172.10	12,103.58	2,603.73		20火
1,177.76	12,107.74	2,577.97		21水
1,176.00	12,169.65	2,599.45		22木
-	12,294.00	2,618.64		23金
1,175.31	-	-		26月
1,170.87	12,291.35	2,625.20		27火
1,172.07	12,151.41	2,589.98		28水
1,175.30	12,287.04	2,613.74		29木
1,180.05	12,217.56	2,605.15		30金
-	12,397.38	2,648.72		1.3火
1,187.66	12,418.42	2,648.36		4水
1,189.02	12,415.70	2,669.86		5木
1,186.83	12,359.92	2,674.22		6金
-	12,392.69	2,676.56		9月
1,187.93	12,462.47	2,702.50		10火
1,187.13	12,449.45	2,710.76		11水
1,185.12	12,471.02	2,724.70		12木

「株式ウイークリー」HP www.toyokeizai.net/shop/magazine/weekly/

編集長オリジナルの【今週の銘柄動向】原則月曜日夕刻配信)を含めた市場経済ニュースは、画面を下にスクロールした関連記事(右下)にあります

株式市況基本指標

年月日	日経平均株価225種		単純平均 (全銘柄)	株 価 指 数				騰落銘柄数		売買高 万株	売買代金 百万円	東証2部 株価指数 ポイント	円レートの (Tokyo)
	前日比	円		TOPIX ポイント	大型株 ポイント	中型株 ポイント	小型株 ポイント	値上がり	値下がり				
昨年来最高 (月日)	10,857.53 2月21日	-	261.29 2月21日	974.63 2月21日	985.64 2月17日	1,022.52 2月21日	1,480.13 2月21日	-	-	577,694 3月15日	3,141,512 3月16日	2,429.26 2月21日	75.83 10月28日
昨年来最低 (月日)	8,160.01 11月25日	-	200.51 3月15日	706.08 11月24日	673.66 11月24日	805.25 11月25日	1,104.86 3月15日	-	-	80,717 12月27日	460,566 12月27日	1,914.80 3月15日	85.24 4月7日
2011.12.12月	8,653.82	117.36	214.23	746.69	714.39	848.07	1,277.36	1,272	289	150,550	877,201	2,120.63	77.61
13火	8,552.81	101.01	213.36	740.71	707.73	841.96	1,274.98	588	912	165,141	966,682	2,122.23	77.80
14水	8,519.13	33.68	212.04	736.98	704.32	837.79	1,266.33	437	1,113	151,725	918,670	2,121.51	77.98
15木	8,377.37	141.76	208.91	725.02	691.98	826.08	1,247.04	227	1,369	154,423	943,158	2,104.57	77.93
16金	8,401.72	24.35	208.10	723.56	690.27	826.49	1,237.59	495	1,000	147,915	926,975	2,102.94	77.88
19月	8,296.12	105.60	206.54	716.38	682.45	819.61	1,230.13	449	1,109	143,535	810,094	2,092.63	77.91
20火	8,336.48	40.36	208.01	718.49	682.44	825.15	1,241.92	1,125	401	116,946	676,546	2,096.77	77.95
21水	8,459.98	123.50	209.40	725.68	689.93	833.17	1,247.70	1,028	452	125,203	765,451	2,102.40	77.72
22木	8,395.16	64.82	208.52	723.12	687.81	829.76	1,241.82	537	946	118,067	726,565	2,103.01	78.11
23金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26月	8,479.34	84.18	208.72	726.44	691.80	832.81	1,241.48	766	712	90,420	500,844	2,100.33	77.99
27火	8,440.56	38.78	208.07	724.25	689.54	830.48	1,238.85	558	886	80,717	460,566	2,094.95	77.91
28水	8,423.62	16.94	207.50	721.45	686.60	827.75	1,234.92	533	936	100,741	575,439	2,099.21	77.79
29木	8,398.89	24.73	208.04	722.12	686.61	829.52	1,238.35	831	601	97,291	548,347	2,100.71	77.70
30金	8,455.35	56.46	210.18	728.61	692.30	837.53	1,252.46	1,313	225	83,867	483,134	2,111.43	77.56
2012.1.3火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4水	8,560.11	104.76	213.66	742.99	707.76	850.21	1,275.39	1,457	141	144,347	853,407	2,126.43	76.68
5木	8,488.71	71.40	212.47	736.28	701.13	841.70	1,271.04	414	1,144	125,542	709,722	2,129.42	76.77
6金	8,390.35	98.36	210.43	729.60	694.92	833.17	1,262.40	354	1,152	154,053	845,613	2,124.50	77.17
9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10火	8,422.26	31.91	211.50	731.93	697.04	835.54	1,269.10	972	554	166,210	921,317	2,130.38	76.85
11水	8,447.88	25.62	212.18	733.47	698.34	837.54	1,272.46	868	627	165,737	869,123	2,134.66	76.92
12木	8,385.59	62.29	210.53	727.15	692.52	829.94	1,261.08	340	1,209	138,829	822,084	2,130.00	76.95

(注)昨年来最高・最低の太字は12年の月日を示す。

とはいえ、ポイントになるう。
もちろん、「小康状態」の欧州情勢は予断を許さない。だが、すでに金融緩和を先取りしたような中央銀行の対応もあり、まずは「リスクオン」と読む市場関係者も増えている。大型輸出株や商社株などを打診買いつける(辰年だが常に脱兎のごとく逃げられるように)のも一考だ。今号も、小誌では復興関連や配当のある低位銘柄を中心に据えた。夢真HLD(2362)やハザマ(1719)、タクマ(6013)など、既出銘柄にも要注目だ。(編集長 福井 純)

スケジュール

1月16日(月) 民主党大会 11月機械受注 12月企業物価指数、消費動向調査 米国市場休場(キング牧師誕生日)
 1月17日(火) 阪神淡路大震災から17年 12月ビール出荷量 12月中古車販売台数 11年GDP(中) 12月消費者物価指数(英) 1月ZEW景況指数(独) 1月NY州製造業景況指数(米)
 1月18日(水) 金融政策委員会(ブラジル)
 1月19日(木) 12月住宅着工件数(米) 12月消費者物価(米) 1月フィラデルフィア連銀製造業景況指数(米) 週間新規失業保険申請件数(米) 12月半導体製造装置BBレシオ(北米)
 1月20日(金) 12月訪日外国人数 12月コンビニ売上高 独仏伊首脳会談(欧) 12月中古住宅販売件数(米)
 1月21日(土) 共和党サウスカロライナ州予備選挙(米)
 1月22日(日) 自民党大会
 予定は変更されることがあります。なお11~12月の各指標は11年ベース。

16日に民主党大会、22日には自民党大会が開催される。日本が「経済一流、政治三流」といわれていたときでも、信頼できると思われる政治家は今よりは多かつたはずだ。民主党の小沢一郎元代表への期待はゼロにはなっていないが、かつてのプリンスも今年5月で古希を迎える。もはや「新たな政治勢力」を結集することが目的化しているといわれても仕方がない。いまだに、新たな政治勢力が結集すれば何かすごいことができると勘違いしている政治家は後を絶たない。強すぎる参議院に代表されるように、政治力の低下が制度上の欠陥のせいなのか、政治家の資質によるものなのか。日本政治の危機は常態化している。

今週の話題

またぞろ「政界青い鳥症候群」
日本政治の危機は常態化

主体別売買動向

	委託						個人			委託計	自己
	生・損保	都銀ほか	信託銀行	投信	事業法人ほか	海外投資家	現物	信用	合計		
2008年	3,289	2,303	45,026	3,014	19,984	37,085	10,719	898	9,821	36,735	35,374
2009年	4,183	4,623	14,403	769	3,945	17,775	16,015	7,348	8,666	20,137	19,876
2010年	6,317	2,798	9,629	174	3,193	32,105	29,197	6,426	22,771	13,775	12,992
2011年	5,757	513	7,890	1,386	10,154	19,725	10,438	10,497	59	30,793	31,505
2011年1月	1,144	237	3,960	201	575	7,204	1,813	1,882	69	2,456	2,543
2011年2月	1,345	222	3,628	755	380	9,322	5,050	1,656	3,394	614	525
2011年3月	313	76	1,999	437	532	14,034	1,296	333	1,629	13,537	13,614
2011年4月	541	369	2,162	128	450	6,261	1,561	374	1,187	2,294	2,329
2011年5月	209	56	974	24	697	1,992	210	2,148	2,358	3,988	4,066
2011年6月	8	11	2,170	345	797	1,212	2,126	538	2,664	1,818	2,518
2011年7月	468	112	1,347	720	534	1,695	1,769	1,281	488	869	1,071
2011年8月	120	780	6,697	669	1,530	10,656	3,903	2,184	6,088	5,618	6,039
2011年9月	363	144	5,399	54	601	7,526	548	626	1,174	2,886	3,004
2011年10月	263	430	1,214	665	331	1,655	1,654	137	1,791	63	267
2011年11月	678	153	4,503	99	1,531	1,704	804	997	193	3,859	3,862
2011年12月	544	215	1,978	329	2,196	3,764	522	942	421	427	350
2011年10月4週	194	152	264	66	128	1,584	1,066	521	1,587	63	65
2011年11月1週	33	44	181	96	110	712	150	636	786	483	550
2011年11月2週	284	34	567	80	308	252	105	336	441	695	663
2011年11月3週	108	48	1,364	65	186	476	32	388	420	1,398	1,418
2011年11月4週	32	1	1,602	98	390	1,137	30	330	300	1,039	1,071
2011年11月5週	288	124	789	246	537	873	1,062	694	1,755	244	160
2011年12月1週	274	58	1,063	98	538	2,761	135	352	218	1,152	1,167
2011年12月2週	91	77	536	50	729	1,578	222	624	845	351	374
2011年12月3週	184	50	216	1	589	287	171	106	65	218	201
2011年12月4週	5	31	163	280	341	862	437	140	577	1,011	942

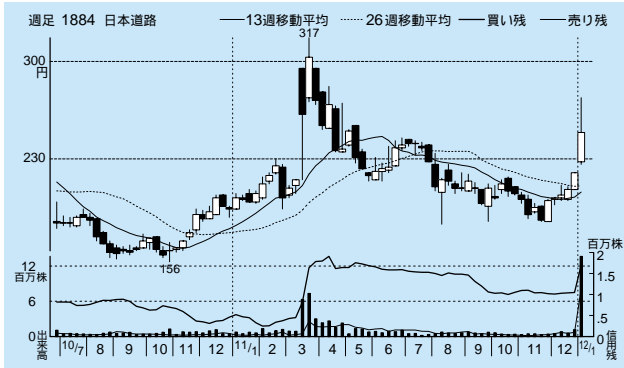
(注) 12月4週は12月26日~12月30日 単位は億円。 は売り越し。

今週の 低位材料株	1884	買いレンジ	245 ~ 275 円
	日本道路	売りレンジ	300 ~ 460 円
		時価 =	264 円 (1.13 引け値)

高速道などの受注計画は達成へ、割安修正続く

7 円配 清水建設系の道路舗装大手。市場では「日本橋」の名前でおなじみの日本橋梁(5912)が連日の急騰劇を演じており、この動きについていくのも一手だ。だが、現在のところ同社は無配当。株式は需給が基本だが、暴騰前ならまだしも、「日本橋」については独自に対処されたい。すでに小誌で取り上げているが、橋梁関係なら駒井ハルテック(5915)が面白い。さて、今回は中期で橋・道路関連の物色が続くとして、日本道路に注目。いまのところ連日急騰とまではなっていないが、日足で見ればもちろん動意。200円台半ばまで上げてきたが、大震災直後につけた300円台までまだ余裕がある。配当も中間配当なしの年7円であり、年度末にかけては株価の下支え要因となりそう。目標株価は310円。1株純資産は600円台であり、中期では400円台を目指す。

発行済株数	97,616千株
資本金	12,290百万円
売買単位	1,000株
1株純資産	618円(2011.9)
PBR	0.43倍
上場市場	東京
昨年来高値	317円(11.3.23)
昨年来安値	183円(11.8.9)
上場来高値	2,260円(1990年)
予想PER	13.68倍



信用取組 (東証, 千株)	〔業績〕	売上高	営業利益	経常利益	利益	1株益	1株配	[配当] 円
申込期日 売り 買い 倍率	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円)	(円)	
12.16 98 1,029 10.5	連10.3	140,486	6,884	7,020	3,666	41.6	7	10.3 7
12.22 74 1,041 14.1	連11.3	127,029	3,840	3,801	2,070	23.5	7	11.3 7
12.30 101 1,049 10.4	連12.3予	130,000	3,400	3,400	1,700	19.3	7	12.3予 7
1.6 1,128 1,703 1.5	連13.3予	133,000	3,600	3,600	1,800	20.4	7	13.3予 7

今週の 再編期待株	7222	買いレンジ	750~795円
	日産車体	売りレンジ	850~1,200円
		時価 =	787円(1.13引け値)

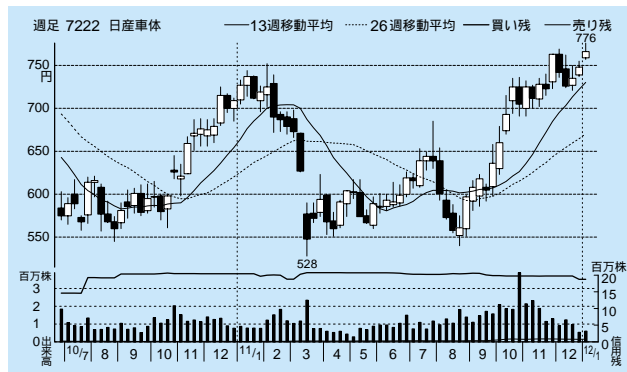
商用車堅調で減益幅縮小へ、日産自動車の政策に注目

ジリ高

日産自動車系列の自動車受託生産企業。RVや商用車を得意とする。鋼材高は一服傾向だが、大震災の影響に加え、「セレナ」の日産への移管など、悪材料には事欠かない。それでも、株価はジリジリと上昇中。テクニカル面で見ると、500円台で底値を確認。昨年8月初めからの上昇幅は200円以上に上る。また、月足では上値抵抗線を突破したかどうかというところだ。長年『会社四季報』をこ愛読いただいている読者ならお気づきと思うが、この銘柄のすぐ後に

あった関東自動車工業はトヨタ自動車の資本政策により昨年上場廃止になっている。直近は、こうした連想が日産車体にも働く。1株純資産は900円台半ばであり、日産自動車吸収するといったことを想定しながら、今後の動向に注目。目標株価はまず900円に設定。それ以上の株価も十分期待できる。

発行済株数	157,239千株
資本金	7,904百万円
売買単位	1,000株
1株純資産	957円(2011.9)
PBR	0.82倍
上場市場	東京
昨年来高値	790円(12.1.11)
昨年来安値	528円(11.3.17)
上場来高値	1,160円(1989年)
予想PER	23.22倍



信用取組 (東証, 千株)	[業績]	売上高	営業利益	経常利益	利益	1株益	1株配	[配当] 円
申込期日	売り 買い 倍率	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円)	(円)	
12.16	774 19,750 25.5	連10.3	424,477	26,258	23,707	8,391	53.7	9 11.3 4.5
12.22	781 19,752 25.3	連11.3	505,997	18,202	17,686	7,192	46.0	9 11.9 4.5
12.30	764 18,750 24.5	連12.3予	459,000	9,100	8,600	5,300	33.9	9 12.3予 4.5
1.6	777 18,761 24.1	連13.3予	480,000	12,000	11,500	5,800	37.1	9 12.9予 4.5

今週の 大証関連株	8041	買いレンジ	185～200円
	OUGホールディングス	売りレンジ	210～300円
		時価＝	193円(1.13引け値)

魚価はマグロなど中心に上昇基調、大証単独上場銘柄

新高値
大阪中央卸売市場の水産物卸売で、マルハニチロHLDが筆頭株主だ。中核会社は大阪魚市場。主力の水産物荷受け事業は成熟産業であり、コストを一定に抑制しながら安定した利益をあげる。一方で、ホテルや外食向けの市場外取引は徐々に伸びている。リーマンショック後の2009年3月期まで、2期連続の最終赤字に陥ったが、その後は黒字が定着している。今期も魚価が堅調なことで粗利益率が改善。会社計画の営業利益を上回る着地が期待され、来13年3月期もその流れは続きそうだ。100円台の銘柄ながら6円配当があり、さらに大証単独上場企業。いま市場がはやしそうな条件を備えているのが魅力。実際、出来高を見ればその兆候もある。13日は新高値。目標株価は220円。フシを突破すれば、250円以上までは十分狙える。

発行済株数	55,622千株
資本金	6,495百万円
売買単位	1,000株
1株純資産	266円(2011.9)
PBR	0.73倍
上場市場	大阪
昨年来高値	181円(11.11.30)
昨年来安値	120円(11.3.15)
上場来高値	1,430円(1991年)
予想PER	7.04倍



信用取組 (大証, 千株)	〔業績〕	売上高	営業利益	経常利益	利益	1株益	1株配	[配当] 円				
申込期日	売り	買い	倍率	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円)				
12.16	6	122	20.3	連10.3	317,482	852	1,232	853	15.6	6	10.3	6
12.22	5	105	21.0	連11.3	319,127	1,189	1,569	1,095	20.0	6	11.3	6
12.30	1	95	95.0	連12.3予	322,000	1,550	1,850	1,500	27.4	6	12.3予	6
1.6	1	117	117.0	連13.3予	324,000	1,700	2,000	1,650	30.2	6	13.3予	6

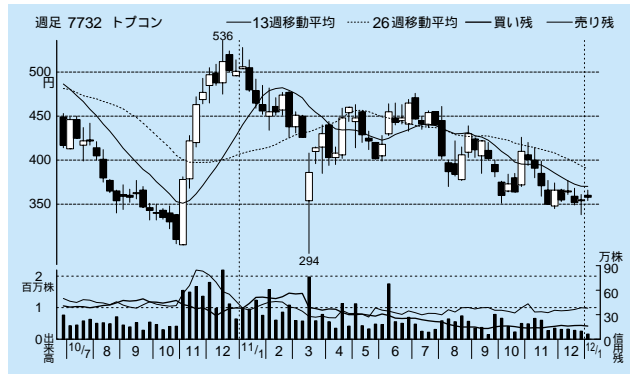
今週の 復興関連株	7732	買いレンジ	375 ~ 395 円
	ト プ コ ン	売りレンジ	410 ~ 540 円
		時価 =	385 円 (1.13引け値)

新興国向け測量機拡大に加え、原発関連でも期待

好材料
続出

東芝系の測量機器、GPS(全地球測位システム)などの大手。今期は電子機器検査装置が円高もありさえず、希望退職を募集するなど、業績はあまり期待できない。だが、逆にいえば悪材料は出尽くした感がある。今後は同社は、新興国向けの市場に大きく傾倒していくことで、国際優良小型銘柄に生まれ変わる可能性を秘めている。主力の測量機器では遠隔地から稼働状況を把握でき、36時間の連続使用にも耐えられる新型機種を開発。新興国向けに人気を集めそうだ。さらに、国内でも今後の活躍を指摘する声が強い。原発問題では放射性物質の除染問題において、建機向けなどで同社の遠隔制御システムが注目されている。ここは来期以降の業績回復を先取りしたい。目標株価は475円に設定。なお除染や中間貯蔵施設関連では日立造船(7004)にも注目したい。

発行済株数	92,688千株
資本金	10,297百万円
売買単位	100株
1株純資産	361円(2011.9)
PBR	1.07倍
上場市場	東京
昨年来高値	528円(11.1.6)
昨年来安値	294円(11.3.15)
上場来高値	4,490円(2006年)
予想PER	240.63倍



信用取組 (東証, 千株)	[業績]		売上高	営業利益	経常利益	利益	1株益	1株配	[配当] 円
申込期日	売り	買い	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円)	(円)	
12.16	353	161	94,862	1,405	545	133	1.4	4	11.3 2
12.22	363	167	102,470	1,799	608	1,288	13.9	4	11.9 2
12.30	384	168	100,000	3,000	1,700	150	1.6	4	12.3予 2
1.6	379	161	102,000	2,800	1,900	1,150	12.4	4	12.9予 2

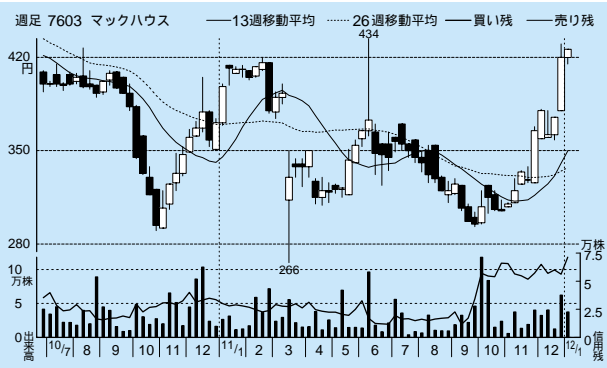
今週の 復活内需株	7603	買いレンジ	430～460円
	マックハウス	売りレンジ	500～750円
		時価＝	450円(1.13引け値)

冬物売れ好調、不採算店撤退などが奏功、一段高へ

増額修正

日本マクドナルドの関係会社のような社名だが、さにあらず。マックハウスは、「東京靴流通センター」ブランドでおなじみのチヨダの子会社だ。チヨダの創業者の舟橋政男氏の子息である舟橋浩司氏がトップの企業だ。マックハウスは成長の曲がり角に差し掛かっていたときに、リーマンショック、さらにはファーストリテイリンググループの「低価格ジーンズ」作戦に苦しめられ、厳しい戦いを強いられた。前期までは2期連続の赤字。だが、このほど12年2月期の業績予想を増額修正、配当も引き上げたように、復活の兆しが見えてきた。利益をあげる見込みのない店舗を中心に退店をしたことで、「出血」がとまりつつある。既存店も順調。株価は動意したが、まだ割安。板が薄いのが難だが、2月までは人気化期待。目標株価は520円に設定。一段高も見込めそうだ。

発行済株数	15,597千株
資本金	1,617百万円
売買単位	100株
1株純資産	783円(2011.8)
PBR	0.57倍
上場市場	JQS信
昨年来高値	463円(12.1.12)
昨年来安値	266円(11.3.15)
上場来高値	3,850円(2006年)
予想PER	6.38倍



信用取組 (JQ, 千株)	【業績】	売上高	営業利益	経常利益	利益	1株益	1株配	[配当] 円				
申込期日	売り	買い	倍率	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円)	(円)	(円)		
12.16	0	56	0.0	単11.2	42,411	633	466	2,102	134.9	20	10.8	10
12.22	0	60	0.0	単12.2予	40,000	1,900	2,000	1,100	70.5	10	11.2	10
12.30	0	56	0.0	単13.2予	37,000	2,000	2,100	1,150	73.7	10~15	12.2予	10
1.6	0	71	0.0	中12.8予	18,500	1,000	1,050	500	32.1	0~7.5	13.2予	10~7.5

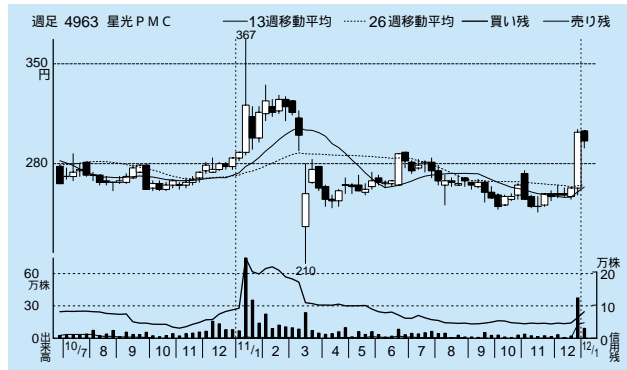
今週の 増額期待株	4963	買いレンジ	310~340円
	星光PMC	売りレンジ	360~500円
		時価 =	328円(1.13引け値)

原料高騰鎮静化追い風、業績安定で利回り約4%は魅力

水準
訂正へ

インキ大手のDIC系列。星光PMCは製紙用薬品で首位級の企業。大株主には取引先の大手製紙メーカーも名を連ねる。今期は日本製紙などが大震災で大きな痛手を被ったこともあり、数量がさえないものの、原料のロジンは価格が鎮静化。この悪環境下で、営業利益はしっかり確保する予定で、会社計画を上回る可能性もある。安定した財務基盤があり、リーマンショック後はむしろ1株益は増える傾向にある。東証1部に昇格したことで、株価は急騰したが、1株純資産は600円台の半ばといったところ。4%前後の配当利回りは大きな魅力であり、年度末にかけて一段の再評価があつてしかるべきだ。目標株価は2011年初めにつけた367円を意識して370円。この11年の高値を抜け、400円はもちろん、500円台まであつても驚かない。

発行済株数	30,743千株
資本金	2,000百万円
売買単位	100株
1株純資産	645円(2011.9)
PBR	0.51倍
上場市場	東京
昨年来高値	367円(11.1.12)
昨年来安値	210円(11.3.15)
上場来高値	1,520円(1996年)
予想PER	9.48倍



信用取組 (東証, 千株)	[業績]			売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)	[配当] 円	
	申込期日	売り	買い倍率							12.16	12.22
				22,165	1,784	1,829	1,190	39.3	11	11.3	5.5
				22,851	1,641	1,676	1,079	35.6	11	11.9	5.5
	41	62	1.5	25,500	1,600	1,650	1,050	34.6	13記	12.3予	7.5
	46	80	1.7	26,500	1,900	1,910	1,150	37.9	11~13	12.9予	5.5



三菱UFJMS注目の中小型株は？

再び復興関連株が物色されている。橋梁、道路関連の中小型株に加え、大手ゼネコン株も高い。補正予算、保険金など、実際にお金が回り始めた(東北一の繁華街である仙台・国分町が賑わっている模様)ことなどを勘案すると、息の長い相場になるかもしれない。

相場全体はギリ貧状態だ。欧州債務危機がヤマ場を迎えそうな2月安を警戒した動きが続く。メルリンチ日本証券では、米国経済も一本調

子の回復は難しいことや3月2日のイラン大統領選に向けた原油価格上昇リスクなどを挙げ、2月は調整相場との見方を維持。一方、野村證券ではEFFSF(欧州安定化基金)の機能拡充が進展せず、ECBが国債買い入れの大幅増額に踏みきること市場心理が転換、日経平均株価は年前半1万円を回復すると予想。

また三菱UFJMS証券でも、株価反転の時期は近いとみる。株価は業績の厳しさを織り込み、中国の旧正月の需要動向等を鑑みた結果という。ただ、前半は中小型株優位の展開と考え、ミクシイ(2121)、カクコム(2371)、ティーガイア(3738)、クレハ(4023)、オート製薬(4527)、エレコム(6750)、日立メディコ(6910)、ドウシシャ(7483)、ゼンショーHD(7550)、パラマウントBH(7817)の10銘柄を推奨した。

	コード	注目銘柄名	格付会社	RATING	理由	直近株価(円)	目標株価(円)
上昇期待	3632	グリー	立花	強気	ソーシャルゲーム充実、今期営業利益700億円超に	2,282	なし
	4401	ADEKA	コスモ	強気	韓国メーカー向けに先端DRAM材料拡大大期待、業績堅調	756	870
	5471	大同特殊鋼	野村	強気 強気	大型電気炉の投入など知多工場の戦略投資に注目	489	600
	6503	三菱電機	ドイツ	強気 強気	FAの回復、経営戦略が成長性重視に転換した点を再評価	722	860
	6594	日本電産	GS	強気 強気	来期業績のコンセンサスに上り余地ある数少ない銘柄	6,980	8,000
	6702	富士通	JPMorgan	中立 強気	共通番号制度、みずほのシステム投資など本格化で恩恵	428	550
	6839	船井電機	シティ	中立 強気	来期営業利益は今期予想比2.5倍に、残存者メリット	1,970	2,500
	6952	カシオ計算機	岡三	強気 強気	腕時計市場が予想以上に活況、デジカメも来期は赤字縮小	442	880
	9715	トランス・コスモス	クレディスイス	強気	過去数年間に行ってきた事業再構築が業績拡大に寄与	970	1,330
天井または下落懸念	6665	エルピーダメモリ	メルリンチ	弱気 弱気	DRAM価格の上昇余地限定的、財務面の懸念も強い	313	200
	7599	カバインターナショナル	大和	中立 やや弱気	粗利益率悪化で第3四半期決算は想定以上の悪化に	2,725	2,600
	4205	日本ゼオン	野村	強気 中立	液晶向けの大規模回復改善見込めず、下期は大幅減益へ	644	730

(注) 1銘柄につき、複数証券会社がレポートを出している場合は、小誌が代表的なものを掲載。株価は1月11日終値。

過去の注目株

時価は1月12日終値。「～円」は1カ月以内のクリアが目標。「持続」から修正せずクリアで「成功」。「長期(中期)持続」は中・長期保有か、手仕舞い。「持続」、「長期(中期)持続」の消滅は修正目標値を参考に買い直し含めた柔軟な対処を求む

コード・銘柄	注目時 株 価	注 目 後 高 値(月日)	時 価	ポ イ ン ト ・ 処 置
9月19日号				
3382 セブ&アイ・HD	2,145	2,300(10. 5)	2,152	持続、PB伸び既存店好調持続、増配好感、高齢化社会消費への対応着々 2350円
7606 ユナイテッドアローズ	1,474	1,605(11. 2)	1,545	持続、既存店やネット通販順調、販売力底上げ、戻り高値更新へ 1550円
3893 日本製紙グループ本社	1,886	2,147(9.28)	1,592	一時約14%上昇、大りストラを好感、売りは一巡、中期で見直しへ 1700円
3811 ビットアイル	158,600	213,700(1. 4)	181,500	成功、一時約35%上昇、データセンターのニーズは高い、目先は利益確定売り 24万円
2780 コメ兵	384	544(12.15)	495	成功、一時約42%上昇、銀座店や新宿店など大型店が想定以上の回復 600円
5915 駒井ハルテック	202	247(1.10)	220	成功、一時約22%上昇、首都高改修報道で動意だが元々予想超保守的、増額修正へ 300円に増額
9月26日号				
9433 K D D I	624,000	614,000(9.26)	493,500	現時点で失敗、割高感なし、「iPhone4S」の販売注目、3Qに注目 55万円
3941 レンゴー	588	600(9.30)	535	持続、売りを一巡へ、中国の内需も中期で取り込む、中間は順調 600円
7205 日野自動車	426	482(12. 2)	467	成功、一時約13%上昇、部品不足解消、アジアに加え、国内も復興需要 500円に増額
2264 森永乳業	340	348(10.12)	294	食品の堅調業績銘柄、ブランド力着々、内需銘柄への再度見直しも 330円
7943 ニチハ	843	960(10.31)	835	一時約14%上昇、洋風外壁の堅調に加え、仮設住宅関連も上乗せ 920円
3391 ツルハHD	4,125	4,380(9.29)	4,200	持続、既存店売上高も堅調、増額修正期待、タイ進出も好材料 4600円
10月3日号				
3050 D C M H L D	680	730(10. 7)	606	復興需要や宅配など高齢者意識したサービスも進化、HC業界は基調強い 650円
5946 長府製作所	2,228	2,250(10. 3)	1,990	石油給湯器で首位クラスの実力、過去最高純益更新へ、通期増額期待続く 2580円
9994 やまや	778	1,164(1.12)	1,132	成功、一時約50%上昇、現地の酒類消費は好調、計画比での業績進捗率高い 1300円に増額
7408 ジャムコ	471	488(10.12)	396	ボーイング787関連が徐々に今後本格化、円高克服も期待、売られすぎ 500円
2193 クックパッド	1,893	2,023(10. 5)	1,575	持続、世界最大のSNSであるフェイスブックとの提携を重要視、続伸期待 2100円
2362 夢真HLD	110	195(1.11)	192	成功、一時約77%上昇、建設現場の施工管理技術者需要旺盛、今期業績続伸へ 210円
10月10日号				
8227 しまむら	7,980	8,200(10.19)	7,950	持続、秋冬物の販売はやや苦戦も価格競争力あり、大都市圏への出店余地も 8800円
7262 ダイハツ工業	1,323	1,438(10.13)	1,416	持続、上場来高値圏、新型車が国内で空前の売れ行き、タイ関連材料注視 1500円
7214 G M B	1,295	1,448(10.31)	1,285	ほぼ達成、一時約12%上昇、ウォン安で攻勢強める韓国現代自動車向け部品好調 1450円
7817 パラマウントHLD	2,210	2,380(1. 4)	2,346	持続、内需の成長関連銘柄への資金の流れを期待、中間は順調、シリ高継続 2450円
9005 東急電鉄	386	391(10.11)	374	持続、予想保守的、反落の局面をすくう、中間は堅調、シリ高へ 450円
3046 ジェイアイエヌ	631	874(1.12)	865	成功、一時約39%上昇、新高値、安さに機能が加わり今期業績続伸へ、 950円に増額
10月17日号				
9613 NTTデータ	257,300	271,200(10.31)	241,200	持続、クラウド本格化や、検討中の国民ID制度などへの期待大きく、仕込み時 29万円
6502 東芝	341	370(10.28)	312	為替の影響受けにくく、「iPhone4S」でも恩恵、NAND型の需要は根強い 370円
6345 アイコーポレーション	320	338(1.12)	337	戻り高値更新、中間期大幅増額で通期再増額へ、中国や東南アジア向け高所作業車好調 380円
9104 商船三井	307	328(10.28)	258	リバウンド、大型バラ積み船料の推移見守る、中国の金融緩和も焦点 310円に増額
8848 レオパレス21	188	229(10.31)	161	成功、一時約22%上昇、賃貸住宅入居率が計画比で上回る、売りは一巡 229円
6023 ダイハツディーゼル	346	390(12.11)	342	一時13%上昇、狙い通り、戻り高値、中間期営業増益、会社計画保守的 400円に減額
10月24日号				
6676 メルコHLD	2,190	2,261(10.31)	1,955	HDDの収益改善に加え、スマホ関連商品も好調、11月安値にほぼ顔合わせ 2400円
5951 ダイニチ工業	939	960(10.24)	706	今年の冬は昨年より寒い、好業績内需はいったん利益確定、売られすぎ 1000円
6101 ツガミ	413	586(1.10)	547	成功、一時約42%上昇、自動車部品に強い工作機械メーカー、タイ復興関連 600円に増額
1952 新日本空調	412	425(1. 4)	407	持続、空調設備がリニューアル中心に好調、中間では受注増明らか 500円
3398 クスリのアオキ	1,196	1,438(1.11)	1,409	成功、一時約20%上昇、いったん利益確定局面到来も、中期では続伸へ 1500円に増額
3656 K L a b	5,080	5,550(10.28)	4,795	筆頭株主の売却は今後も断続的に出るか、ただ業績は好調、中期上昇継続へ 6000円
10月31日号				
7242 K Y B	466	471(10.31)	387	自動車向け緩衝器などは中期で順調、全体相場が急反発なら買い 450円
5101 横浜ゴム	457	472(10.31)	435	新興国のタイヤ需要は堅調、「ギリシャショック」後の全体相場を見極め 500円
1606 日本海洋掘削	2,603	2,678(10.31)	2,206	今年序盤のメタンハイドレート掘削関連、円高も大きな追い風に 2900円
8185 チヨダ	1,385	1,446(1.12)	1,427	持続、3Qまでの好調を確認、1400円の上値のフシを突破、一段高期待 1500円
4098 チタン工業	388	432(12.14)	380	持続、一時約11%上昇、リチウム電池用チタン酸リチウムは順調、ホンダに採用決定 440円
4331 テイクアンドグニス	4,985	5,200(11. 1)	4,935	再生順調、得意のハウスウエディングに追い風、通期増額を期待 5500円
11月7日号				
6674 GS17カーポレーション	421	456(12. 2)	406	リチウムイオン電池の増産を中期で評価、全体相場の落ち着きうかがう 450円
6932 遠藤照明	1,304	1,397(1.10)	1,395	2か月ぶりの戻り高値、通期増額修正、短期的な資金向うが 1400円に増額
6504 富士電機	238	241(11. 4)	213	持続、パワー半導体など中期で有望な事業多い、HD関連にも期待 280円
9783 ベネッセHLD	3,665	3,795(1.10)	3,760	持続、中国などで教育事業拡大、国内でも介護事業が続伸へ 4100円
2882 イートアンド	2,905	3,395(1.12)	3,255	持続、一時約17%上昇、新高値で目標株価にほぼ到達、割安で買われる動き 3400円
1926 ライト工業	350	459(1.11)	454	成功、一時約31%上昇、中間期で営業黒字化、技術力評価、復興需要着美 480円に増額

電話による投資相談は一切実施しておりません。ご了承ください。

過去の注目株

目標は「ポイント・処置」の中に「～円」で表示。相場見通しが激変したら「～円」のレンジを修正。「成功」は目標値を修正せずに達成した場合のみ、初出は太字。なお、「成功」後の目標も「～円」で随時表示

コード・銘柄	注目時 株 価	注 目 後 高 値(月日)	時 価	ポ イ ン ト ・ 処 置
11月14日号				
4751 サイバーエージェント	278,800	284,400(11.14)	222,700	スマホ時代の隠れた大躍進銘柄になる可能性、目先は利益確定売りで我慢 31万円
3632 グリー	2,742	2,821(11.15)	2,202	目先は売り優勢、今後は自社タイトルゲームが続き、市場の予測を上回る成長持続へ 3100円
1893 五洋建設	241	254(1.11)	248	持続、通期予想は保守的、利益確定売り一巡後、再び上昇の動きを予測 280円
6460 セガサミーHLD	1,649	1,738(1.12)	1,735	持続、下期は主力機が稼く、通期増額修正で割安感も抬頭、好材料待つ 1900円
9792 ニチイ学館	912	963(1.6)	945	持続、介護事業が好調、前期比営業利益は40%増に、今後も高成長期待 1100円
7211 三菱自動車	97	98(11.14)	90	持続、タイ洪水の影響織り込み、中間期は好調、今後の大型提携にらみ、仕込み時 110円
11月21日号				
7550 ゼンショーHD	995	1,050(1.4)	1,028	持続、今期営業利益は前期比46%増見込み、T P P本格交渉入りも追い風 1200円
6013 タクマ	345	352(1.11)	350	持続、株価は戻り基調、ゴミ処理施設に加えバイオマス発電プラント伸びる 400円
9990 東京デリカ	507	663(1.4)	618	成功、一時約31%上昇、高価格の婦人用バッグが好調、無理に成長急がない方針も好感 750円
2712 スターバックスコーヒーパル	46,500	49,750(12.12)	48,450	持続、円高メリットに加え、原料も沈静化の兆し、通期増額修正済みへ 5.2万円
7522 ワタミ	1,864	1,900(11.22)	1,736	持続、「居酒屋一本足打法」は脱却へ、増額修正期待、介護・宅配で成長持続へ 2100円
9009 京成電鉄	533	580(12.26)	565	持続、ジリ高、オリエンタルランドの堅調に加え、成田空港上場の思惑も 600円
11月28日号				
7202 いすゞ自動車	338	373(1.5)	369	一時約10%上昇、当初目標達成へ、新興市場開拓評価、タイ洪水悪材料織り込み 380円
8037 カメイ	611	790(1.11)	789	成功、一時約30%上昇、小休止も、石油・L Pガスから自動車販売まで幅広い復興需要 850円に増額
4343 イオンファンタジー	1,137	1,330(1.12)	1,325	成功、一時約17%上昇、国内既存店好調、中国でのグループ展開も追い風、1400円に増額
7494 コナカ	389	642(1.12)	638	成功、一時約65%上昇、今9月期の上半期は営業大幅増益、勢いのあるうちに、700円に増額
1919 エスバイエル	174	217(12.1)	173	成功、一時約25%上昇、ヤマダ電機グループ入りで業績回復に拍車、好材料今後も期待 250円
8291 日産東京販売HD	140	152(12.12)	130	持続、日産系3販売会社統合の効果を評価、営業利益は大幅増に 180円
12月5日号				
6103 オークマ	614	624(12.5)	479	業績増額修正、為替の想定も一段の円高へ修正、世界的金融緩和の流れ見極め 690円
5196 鬼怒川ゴム	685	693(12.5)	646	持続、15年度売上高1000億円以上の目標に確かな手ごたえ、リスク回避の流れ緩和なら一段高へ 800円
4301 アミューズ	965	1,012(12.16)	987	持続、アーティストのマネジメントは堅調、キャッシュリッチ銘柄 1100円
8897 タカラレーベン	463	497(1.11)	490	減益予想だが株価は底入れ気配、マンション契約は想定より順調、開発力も買入 520円
2138 カルレーズ	112,900	128,400(1.5)	115,700	持続、一時約14%上昇、ソーシャルゲーム好調、DeNAにつれて本格反発を期待 13万円
1407 ウエストHLD	659	767(12.12)	679	成功、一時約16%上昇、太陽光関連物色の流れどきまで、いったん利益確定へ 750円
12月12日号				
2502 アサヒGHL D	1,695	1,721(12.12)	1,702	持続、12年12月期も増収増益が見込める、中国内需は12年のテーマ、割高感ない 1900円
1719 ハザマ	193	212(1.5)	193	持続、一時約10%上昇、受注は堅調、セシウム吸着剤も、利益確定売りが中期チャンス拡大 220円
6796 クラリアン	135	141(12.12)	134	持続、カーナビなど新興国向けに堅調、円高もあり苦にならず、筆頭株主日立の動向にも注目 170円
6962 大真空	335	330(12.12)	273	現時点で失敗、タイの洪水影響など見極め、ただ出来高急増、中期で反転へ 380円
2427 アウトソーシング	306	320(12.12)	276	持続、アジアでの人材派遣ビジネス拡大、株価はかなり割安、業績増額修正を楽しみに 340円
7938 リーガルコーポレーション	141	154(12.12)	148	持続、一時約9%上昇、200円狙いたい、円高続き採算想定以上に改善、復配、中国内需関連 160円
12月19日号				
8219 青山商事	1,375	1,432(1.10)	1,374	持続、就活シーズン本格化、12年春に米国カジュアルを本格展開へ、割安 1550円
9001 東武鉄道	381	402(1.4)	396	持続、スカイツリー開業は12年5月22日、全体相場下落なら安全資産は電鉄に 440円
3408 サカイオーベックス	117	121(1.6)	119	持続、ユニフォーム好調、自動車向けも復調で4期ぶりに復配へ 150円
1873 東日本ハウス	211	314(1.12)	310	成功、一時約49%上昇、今10月期は前期比40%営業増益、3月高値更新へ 350円に増額
9681 東京ドーム	180	194(1.12)	192	持続、業績下方修正で当面の悪材料出尽くし、13年1月期は反転 218円
2665 三井情報	14,030	14,290(1.10)	14,150	持続、隠れたクラウド関連銘柄、日系企業の海外進出を側面支援、業績好調な割安銘柄 1.7万円
12月26日/1月2日合併号				
4684 オービック	14,500	15,050(1.4)	14,500	持続、パッケージソフトに加えサポートも好調、消費増税関連でも注目 1.6万円
6754 アンリツ	816	860(1.4)	844	持続、主力の計測器が好調、中国中心としたアジア需要も取り込む 950円
7860 エイベックスGHD	973	1,008(1.4)	965	持続、ドコモのスマートフォン向け動画配信順調、1株純資産からみてかなり割安 1100円
9955 ヨンキョウ	570	704(1.11)	677	成功、一時約24%上昇、残存者利益で生き残り、養殖への長期の流れを着実に 750円に増額
7224 新明和工業	313	352(1.10)	320	持続、一時約13%上昇、復興需要でダンプトラック想定超、B787向けも順調 380円
2292 S F O O D S	636	677(1.10)	665	持続、放射性物質問題などによる消費低迷は織り込み、規制緩和期待を先回り買い 750円
1月9日号				
8218 コメリ	2,349	2,399(1.10)	2,346	持続、小商圏対応もでき、今後も競争勝ち抜き成長するHC、農家の需要もガッチリ 2600円
3658 イブックスインテグリティパル	2,270	2,370(1.10)	2,245	持続、電子書籍関連の主役候補の一角、13年1月期も成長へ 2700円
9761 東海リース	169	180(1.12)	177	持続、仮設建物リース専門の強み、今後はスモールビジネスの復興需要期待を先取り 220円
3606 レナウン	142	146(1.10)	143	持続、中国系資本傘下で一段の抜本的対策発表期待、構造改革などに注目 180円
5357 ヨータイ	411	415(1.10)	399	持続、耐火物が好調で今期は過去最高純益更新へ、大阪単独上場銘柄としても期待 470円
2733 あらた	184	197(1.11)	187	持続、復興需要で日用品は底堅い、株価低位で7円配は大きな魅力 220円

検証 2011年「小誌注目銘柄」上昇率ランキング

2011年1～12月に注目した280余銘柄のパフォーマンスを検証。もう一度買える銘柄はどれか。

順位	社名	コード	上昇率 (%)	注目時 株価(円)	その後の 高値(円)	1月10日 (終値)	今期予想 PER(倍)	PBR (倍)	時価総額 (億円)	掲載号
1	サニックス	4651	137.1	186	441	224	14.2	1.51	109.5	11/01/24
2	S×L	1919	123.7	97	217	187	-	3.28	380.5	11/03/28
3	カメイ	8037	88.8	419	791	790	6.3	0.49	296.9	11/07/18
4	トランザク	7818	88.5	520	979	940	7.7	1.59	29.4	11/02/13
5	日本コンク	5269	87.5	168	315	230	23.6	0.50	118.1	11/02/21
6	コロナ	5909	84.7	839	1,550	1,179	12.8	0.53	345.9	11/06/06
7	夢真HLD	2362	76.4	110	194	192	16.1	7.22	143.1	11/10/03
8	タツタ電線	5809	72.2	270	465	348	15.4	0.84	244.1	11/01/31
9	イエローハ	9882	68.6	795	1,340	1,206	6.4	0.71	301.0	11/05/23
10	極東貿易	8093	64.7	167	275	206	5.5	0.51	57.4	11/05/16
11	コナカ	7494	61.7	389	629	617	5.8	0.54	192.1	11/11/28
12	エンブラス	6961	61.3	1,076	1,736	1,532	58.3	0.87	309.9	11/04/18
13	ライト工業	1926	60.7	285	458	457	30.1	0.82	264.1	11/03/21
14	ヨンキュウ	9955	60.2	435	697	696	8.7	0.39	80.4	11/02/28
15	津田駒工業	6217	53.7	188	289	194	14.6	0.75	132.0	11/02/07
16	ウエストH	1407	50.4	751	1,130	686	9.3	3.03	92.5	11/04/18
17	富士ゼネ	6755	49.3	440	657	452	9.9	1.99	493.9	11/05/09
18	第一実業	8059	49.2	325	485	335	7.3	0.73	185.6	11/05/30
19	日本鑄造	5609	48.7	152	226	130	18.2	0.62	54.6	11/04/11
20	やまや	9994	47.3	771	1,136	1,122	6.1	0.64	110.6	11/01/31
21	カルソカン	7248	45.8	367	535	453	5.5	1.16	1,237.7	11/02/07
22	ニチモウ	8091	45.3	137	199	165	11.7	0.46	62.4	11/08/08
23	コナミ	9766	43.6	2,024	2,906	2,151	15.3	1.45	3,086.6	11/08/01
24	ツガミ	6101	41.9	413	586	560	16.9	1.71	380.9	11/10/24
25	鬼怒川ゴム	5196	41.8	490	695	658	8.5	2.42	442.8	11/02/13
26	コメ兵	2780	41.7	384	544	494	7.2	0.45	55.6	11/09/19
27	オーデリック	6889	41.5	1,120	1,585	870	10.5	0.34	66.2	11/04/11
28	北越工業	6364	40.1	197	276	191	7.2	0.52	57.6	11/03/21
29	オーナンバ	5816	38.8	699	970	389	10.8	0.43	48.8	11/02/07
30	ラウンドワ	4680	38.4	537	743	473	13.7	0.56	451.4	11/06/20
31	関東自動車	7223	37.6	606	834	-	-	-	-	11/06/13
32	日本インタ	6974	37.0	154	211	103	11.0	-	65.7	11/06/06
33	オーバル	7727	36.1	147	200	136	10.2	0.29	35.6	10/12/27
34	鉦研工業	6297	35.5	470	637	329	98.3	2.02	29.5	11/06/27

秋苦戦、冬にやや巻き返し

2011年末の日経平均株価は8455円35銭。10年末比約17.3%の下落だった。大半のアナリストの事前予想とは大きくかけ離れた結果になった。欧州債務危機だけでなく東日本大震災、タイの大洪水などの災害も波乱要因となった。

ここでは小誌が昨年1年間に注目した銘柄のパフォーマンスを検証する。上表はお届けした280余銘柄のうち、上昇率が高かった銘柄をランキングしたものだ(複数回取り上げた銘柄は上昇率で高い方を採用。株価は分割を考慮。また予想PERが「-」の銘柄は変則決算や赤字の企業など。PBRが「-」の企業は債務超過企業を表す。期間はやや長い。12年1月10日までで計算。なお31位の関東自動車は上場廃止)。

昨年8月の大幅下落時は逆行高銘柄を連発できたが、その後は難しい相場だった。直近ではコナカや夢真HLDなどの内需銘柄が大きく上昇、なんとか格好がついてきた。大型株の反転の時期を慎重に探りつつ、良質な中小型株を発掘したい。

東洋経済 株式ウイークリー

順位	社名	コード	上昇率 (%)	注目時 株価(円)	その後の 高値(円)	1月10日 (終値)	今期予想 PER(倍)	PBR (倍)	時価総額 (億円)	掲載号
35	山 洋 電 気	6516	34.8	546	736	400	5.5	0.67	259.4	11/01/10
36	ビトアイル	3811	34.7	158,600	213,700	192,800	25.5	4.53	325.4	11/09/19
37	ニッポン紙	3891	33.3	2,100	2,800	1,443	37.0	1.10	158.0	11/05/30
38	J I N	3046	33.1	631	840	795	21.1	6.31	162.8	11/10/10
39	プ ロ ミ ス	8574	32.6	671	890	770	-	-	2,778.5	11/01/17
40	スカバJH	9412	31.3	33,900	44,500	38,550	15.3	0.70	1,328.4	11/08/01
41	ソディック	6143	31.2	558	732	387	9.6	0.70	206.7	11/05/30
42	東京デリカ	9990	30.8	507	663	622	8.2	0.80	123.8	11/11/21
43	オ リ コ	8585	30.0	100	130	70.0	5.5	-	477.3	11/01/10
44	東 鉄 工 業	1835	29.4	647	837	674	7.3	0.64	243.3	11/02/13
45	D I C	4631	28.4	176	226	139	7.5	1.07	1,277.9	11/01/24
46	ハリマ化成	4410	27.9	578	739	612	7.6	0.53	159.6	11/01/31
47	システナ	2317	27.6	93,500	119,300	54,300	10.1	1.13	171.8	11/01/17
48	I I J	3774	27.5	287,100	366,000	264,900	14.5	1.75	546.9	11/06/06
49	ホソミク口	6277	27.4	391	498	352	8.1	0.75	151.6	11/06/13
50	東日ハウス	1873	27.0	211	268	267	3.4	1.67	122.7	11/12/19
51	河 西 工 業	7256	26.8	496	629	385	5.6	0.86	152.1	11/06/27
52	ノ ザ ワ	5237	26.4	140	177	120	14.7	0.35	28.9	11/04/18
53	象 印	7965	26.0	246	310	261	4.8	0.44	189.4	11/07/25
54	イーグル工	6486	25.8	900	1,132	616	7.1	0.83	306.5	11/01/10
55	ティラド	7236	25.6	316	397	255	4.8	0.63	212.7	11/05/30
56	アイメタル	5605	25.0	216	270	139	8.3	0.32	62.5	11/02/13
57	丸紅リース	9763	24.9	169	211	152	10.2	0.68	52.1	11/04/11
58	ア ー ク	7873	24.7	146	182	72	-	-	49.0	11/01/10
59	ニッセンH	8248	24.2	488	606	341	11.0	0.70	216.2	11/02/07
60	ヤマタネ	9305	23.8	143	177	113	9.6	0.63	128.1	11/07/25
61	タカトリ	6338	23.7	818	1,012	419	7.1	0.40	23.0	11/04/25
62	K Y B	7242	23.3	528	651	364	5.7	0.88	811.6	11/06/06
63	日新電機	6641	23.2	651	802	445	10.3	0.87	479.8	11/04/25
64	三谷セキサ	5273	22.9	520	639	530	7.8	0.45	132.4	11/05/09
65	ネットワン	7518	22.7	184,400	226,200	214,500	12.4	1.64	1,183.8	11/08/01
65	千 趣 会	8165	22.7	481	590	521	9.4	0.54	248.1	11/08/08
67	駒井ハルテ	5915	22.3	202	247	247	48.9	0.43	122.8	11/09/19
68	レオパレス	8848	21.8	188	229	160	22.5	0.86	280.7	11/10/17
69	マルニチH	1334	21.5	130	158	141	13.8	1.36	719.1	11/08/08
70	ゼ ビ オ	8281	21.3	1,722	2,088	1,827	8.7	0.81	875.3	11/08/22
71	マルカキカ	7594	20.5	616	742	668	9.8	0.50	62.3	11/07/04
72	昭和シェル	5002	20.3	758	912	508	6.0	0.70	1,914.4	11/03/14
73	日本電子材	6855	19.9	558	669	363	-	0.43	38.4	10/12/27
73	戸 田 建 設	1860	19.3	295	352	294	19.7	0.51	948.6	11/03/21
73	プレス工業	7246	19.3	379	452	365	6.9	0.92	416.1	11/06/20
73	ドウシシャ	7483	19.3	1,989	2,373	2,361	7.8	1.02	441.2	11/06/20
77	J F E コ ン	5907	18.7	375	445	398	7.4	0.70	114.1	11/05/23
78	A O C H D	5017	18.6	548	650	479	12.8	0.40	374.4	11/02/28
78	植 木 組	1867	18.6	188	223	204	33.8	0.48	70.1	11/08/29
80	フェロート	6890	17.9	1,905	2,246	736	8.3	0.66	225.9	11/05/09
80	ベスト電器	8175	17.9	224	264	182	6.8	0.36	164.3	11/09/12
80	薬のアオキ	3398	17.9	1,196	1,410	1,410	6.1	1.08	109.4	11/10/24
83	稲 畑 産 業	8098	17.8	523	616	476	6.2	0.43	310.1	11/01/24
84	戸 田 工 業	4100	17.5	719	845	670	24.1	1.33	324.2	11/06/13
85	遠 藤 照 明	6932	17.3	1,286	1,508	1,397	17.6	2.55	188.0	11/06/13

2012年1月16日発行（毎週月曜日発行）

テクニカル 分析

日本株は「試練の3ヵ月」に
金融機関の断続的売りに注意
3月までは需給悪化の懸念

欧州問題は依然として不透明感が強いが、好調な経済指標を受け米国株は堅調だ。問題の震源地である欧州主要国株価も米国ほどではないが昨年9月安値よりも高位にある。

一方、日本株は依然として安値水準から抜け出すことが出来ない。欧州問題以上に、日本特有の環境悪化市場の重しになっているようだ。

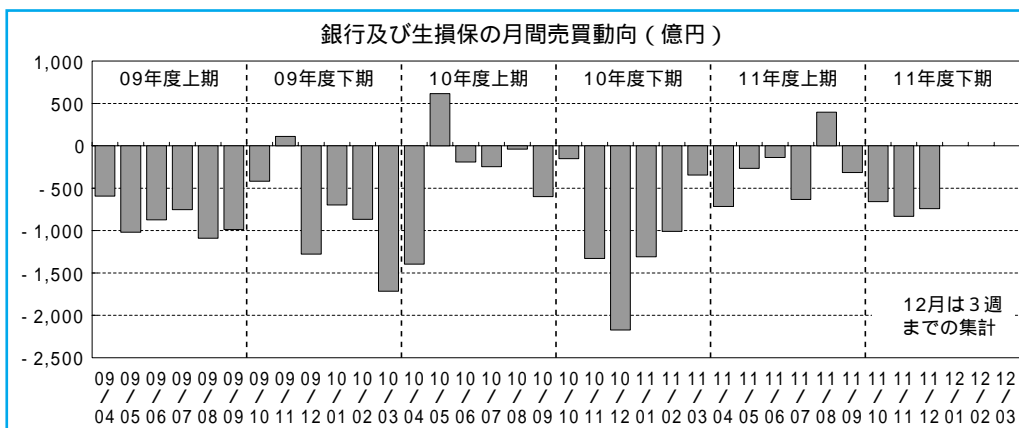
日本の株式市場を語る上で避けて通れないのが需給悪という問題だ。ここでいう需給悪とは、海外投資家の売買や信用残といったファンダメンタルな部分が理由となる需給ではない。日本ではファンダメンタルと

関係のない理由で売りを出し続けている主体がいる。その主体とは金融機関だ。日本の銀行、生保、損保は会計規制変更に伴い、これまで長期に渡り保有していた株式を売却しなければならなくなっている。この売りを吸収できる主体がないことが、日本株の長期低迷の本質なのだ。

そんな中、この1～3月は一年の中で最も金融機関から売りが出ることと需給がバランスしにくくなる時期だ。保有している相手企業との兼ね合いや本決算を前にして、数字を固める必要に迫られるということがこの時期に売りが集中しやすくなってしまうのだ。需給悪により欧米株価がそれなりに堅調であっても、日本株は出遅れてしまう可能性が高いのだ。だが、4月以降は金融機関の売りは減少傾向となると予想され、株式需給も改善傾向を示すものと考えられる。いまは辛抱の時期ではあるが、投資のチャンスのものであるだろう。

（東海東京証券
マーケットアナリスト 鈴木誠一）

毎週土曜日、東京中央郵便局より速達郵送



株式ウイークリー 発行人 / 柴生田晴四 編集長 / 福井純

発行所 / 東洋経済新報社
103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1

関西支社 / 530-0003 大阪市北区堂島1-6-20(堂島アバンザ5階)
名古屋支社 / 460-0003 名古屋市中区錦3-23-31(栄町ビル4階)
印刷所 / 東港出版印刷株式会社

© TOYO KEIZAI INC. 2012

予約購読のお申し込み
.....フリー ☎ 0120-206-308
コールセンター ☎ 03-5605-7021
(受付時間 9:30~17:20 土日祝・休)

本誌の一部または全部の複写・複製・転写・磁気媒体への入力等を禁じます。これらの許諾については、小社（電話03-3246-5481）までご照会下さい。本誌は株式投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、銘柄選択や投資の最終決定は、ご自身の判断・責任でなさるようお願いいたします。

購読料（税込）
25号（半年） 5万4千400円
50号（1年） 9万3千280円